



みんなかがやく！（江東区教育委員会テーマ）

ブリリアンス Next Stage 第3号

～ありのままに今を輝く～

江東区立南砂中学校だより



校長 近藤 啓太

「300万円の投資」を大きな価値へ変えた三日間

新緑の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、本校の3年生は先日、無事に長崎への修学旅行を終えて帰着いたしました。今回の修学旅行にあたり、生徒たちの旅費として2,854,520円、引率教員の費用を合わせると300万円を超える額が、江東区の大切な税金から投じられました。私はしよりの冒頭で、「この300万円という投資に対し、君たちは1,000万円以上の価値ある体験をして帰ってこよう。費用対効果を超えた、プライスレスな学びを掴み取ろう」と呼びかけました。

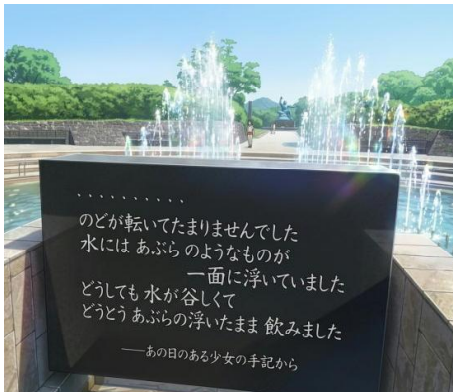
○民泊・産業体験：佐賀の地域の生活に飛び込み、日常の営みに触れた経験は、教室では得られない「生きた学び」となりました。私たちが温かく迎え入れてくださった方々との交流を通じ、人と人とのつながりの尊さを肌で感じたようです。
○伝統と最新技術に触れたハウステンボス：班行動でのハウステンボスでは、SDGsの視点から街づくりを学びました。オランダの景観を再現した美しい街並みを支える循環型システムの知恵に触れる一方、最新技術を駆使したアトラクションを楽しみ、伝統と革新の融合を体感する時間となりました。
○平和学習：原爆資料館や平和公園では、静寂の中で歴史の重みと向き合いました。特に被爆者から直接お話を伺う場面では、メモを取る手が止まるほど、その言葉一つひとつを自分自身の問題として、自分たちの未来に引き寄せて考えている様子が印象的でした。



生徒たちの顔つきは、出発前よりもどこか頼もしく、晴れやかなものでした。社会に支えられていることへの感謝、歴史から学ぶ謙虚さ、そして持続可能な未来への関心。三日間で手に入れたものは、当初掲げた数字では測りきれない、今後の人生を支える「プライスレス」な財産です。この貴重な機会を支えてくださった保護者の皆様、そして地域の皆様に心より感謝いたします。今回の経験を、今後は学校生活や進路選択という形で還元してくれると期待しています。

長崎平和学習（講話へのお礼の言葉）

お話を伺う中で、特に「贅沢禁止令5項目」のお話が心に残っています。私たちは



は、当時の質素儉約な暮らしとは真逆な暮らしが当たり前となり、蛇口をひねれば水が出てくることに疑問も感じていません。この「安心できることができる暮らし」がいかに幸せなことか、改めて感謝の気持ちを忘れないでいたい。また、「核兵器と人類は共存できない」という言葉も深く胸に響きました。だからこそ、いつ、なぜ戦争が起きたのかを学ぶことを大切にしていきたいです。そして、友達がいて、帰る家がある幸せを感じていきたいです。今日の話をお聞き、平和は当たり前にあるものではなく、一人ひとりの努力で築いていくものだ強く感じました。学んだことを「知ったこと」だけで終わらせず、自分たちに何ができるか、これからの学校生活や日常生活の中で考え、行動に移していきたいと思っております。改めて、本日は私たちの心に響くお話ありがとうございました。

生徒代表 K



「地域の宝」に出会う旅 ～事前学習がもたらす学びの深さ～

今回の修学旅行を通じ、私は改めて「どこに行くか」ではなく「何をするか」、そしてそのための「事前の学び」がいかに重要であることを考えました。

唐津市玄海町の民泊コーディネーターの方の車に同乗し、巡回しました。その際、豊臣秀吉の朝鮮出兵の拠点となった「名護屋城」について説明を受けました。この出兵の際、多くの朝鮮人陶工が日本へ連れてこられたことが、日本の磁器である「有田焼」や「伊万里焼」の誕生に直結しているとのことでした。

美しい陶器文化の源流が、戦国時代の戦争にあることを、私は恥ずかしながら現地で初めて知りました。さらにその際、陶器に美しい「赤色」の表現を実現させたのが「酒井田柿右衛門」であり、現在は15代目がその伝統を受け継いでいるというお話も伺いました。

驚いたのは帰宅後です。NHKの『プロジェクトX』で九州の豪華列車「ななつ星」が特集され、客室の洗面鉢に人間国宝・14代柿右衛門の作品が使われていると紹介されたのです。すると、中一の長女が「柿右衛門の苦労話なら本で読んだ」と、有田焼の歴史が書かれた短編集を持ってきてくれました。修学旅行の現地、テレビ番組、そして自宅の本が繋がった瞬間でした。

番組の中で、ななつ星の客室乗務員が「九州には地域の宝が無数にある」と語っていました。しかし、その宝の価値に気づき、深く感動できるかどうかは、訪れる側の「事前の知識」や、「そこで何を感じようとするか」という主体的な姿勢にかかっています。

知識をろくにもたずに引率した私は、もったいないことに体験を深めることができなかつたと言えます。「事前学習の重要性」を身をもって実感しました。

生徒たちが自ら調べ、現地で五感を使って見つけてきた「地域の宝物」。それがこれからの成長の糧となるよう、学校でも事後の振り返りを大切にします。修学旅行は、まだ続いています。



5月11日(月) 救急救命講習 (1年生)

毎年この時期に、1年生を対象とした「救急救命講習」を行っています。

城東消防署から5名が来校され、ご指導いただきました。初めて行う人もいて、おっかなびっくりな様子も見られましたが、隊員さんの優しくもアツい指導のもと、みんなが「胸骨圧迫蘇生法」や「AED」の使い方を中心に組み込んだので、あっという間に講習の時間は過ぎました。最後に学年を代表して学級委員長の滝沢さんが「自分たちにも救える命があることがわかった」とお礼の言葉を述べ、講習会は終了しました。(1学年だより6号から)



運動会に向けて準備中

本校では現在、有志生徒たちによって代々口伝で受け継がれてきた横断幕づくりや応援団の活動が始まり、活気に満ちています。今年度は、「開校50周年をむかえる南砂中を盛り上げよう」をスローガンに、全国に波及したソーラン節(北海道 稚内南中学校が学校再生のため考案し、学園ドラマ放映を機に全国へ普及)をそのまま踊るのではなく、有志生徒が独自に創作したオリジナルの「南砂中ソーラン」を披露します。生徒たちの情熱と工夫が詰まった新しい作品や演舞に、どうぞご期待ください。



6月の主な行事 (詳細はすぐーで送信する月間行事予定をご覧ください)

1日(月)	運動会予備日	12日(金)	漢字検定
2日(火)	振替休日	17日(水)	前期中間考査
3日(水)	周年記念事業(タイルアート)	18日(木)	前期中間考査、3年租税教室
4日(木)	開校記念日	22日(月)	生徒朝会
8日(月)	朝会	23日(火)	手話狂言教室
10日(火)	連携教育・メディアコントロール(~19日)	25日(木)	C組校外学習
11日(木)	耳鼻科検診、学年懇談会	30日(火)	3年校外学習

